

くまむら

☎ 議会だより

90号
2018.7.25



育て！
今年も元気よく

6月8日 渡小学校5年 田植え風景

もくじ

6月の定例会・5月臨時会	2～3
議会の構成・一般質問の要旨	4
一般質問	5～9
棚田オーナー	10

補正予算2億9,951万円を可決

第5回6月定例会は、6月11日から14日までの4日間の日程で開催され、平成29年度の一般会計及び簡易水道特別会計予算繰越明許費繰越計算書報告2件、財産処分1件、平成30年度一般会計補正予算1件が原案のとおり承認、可決しました。

一般質問では、5人が登壇し、各種施策や行政課題について執行部の考えを質しました。最終日には、議員発議で、「最低賃金の大幅引き上げと全国一律制度実現を求める意見書並びに、最低賃金の大幅引き上げと、公正な最低賃金審議会のあり方を求める意見書」案が上程され可決されました。

定例会初日の11日は、まず3月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、人吉球磨広域行政組合議会の報告、人吉下球磨消防組合議会の報告を行いました。続いて、平成29年度一般会計及び簡易水道特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告2件、財産処分1件、平成30年度一般会計補正予算1件の4議案を上程しました。

【一般質問】

用した河川整備工事など、2億9,951万7千円を追加し、歳入歳出総額35億8,451万7千円となりました。

12日の一般質問には、田代利一議員、松谷浩一議員、小川俊治議員、東純一議員、舟戸治生議員の5名が登壇。農業振興、道路の整備、地域における安心、安全対策、高齢者にやさしいむらづくり、福祉有償運送運営、村民防災会議の方向性、コミュニティーバスの利用状況と今後の課題、分館活動、運転免許証自主返納者の環境整備、住民基本台帳及び閲覧など多岐にわたって執行部の考えを質しました。(詳細は5頁〜9頁に掲載)

補正予算では、平成30年度の一般会計の補正予算を原案のとおり可決しました。主なものは、防災、安全交付金を活用した防災広場整備事業、間伐等森林整備促進対策事業補助金を活用した林道開設工事、防災減災ソフト対策等補助金を活

また、議員発議による「最低賃金の大幅引き上げと全国

一律制度実現を求める意見書並びに、最低賃金の大幅引き上げと、公正な最低賃金審議会のあり方を求める意見書の提出について」を全会一致で可決しました。

これは、国等に対し、都市部と地方との賃金格差をなくすよう「最低賃金法」を改正し、普通に働けば人間らしい生活ができる「全国一律最低賃金制度」の創設を求めるものです。

5月臨時会

4月22日に執行された「球磨村議会議員一般選挙」に伴い、5月10日に初議会となる第4回臨時会が開催されました。

臨時会では、まず仮議席を決定し、議長選挙が行われ、多武義治氏が議長に当選されました。引き続き、議席の指定、副議長選挙が行われ、舟戸治生氏

が副議長に当選されました。その後、各常任委員会、議会運営委員会の委員の選任と委員長、副委員長の選出、人吉球磨広域行政組合議会議員、人吉下球磨消防組合議会議員の選任、また、議員発議による特別委員会の設置、委員の選任と委員長、副委員長の選出等を行いました。

議案として、球磨村監査委員の選任同意1件、専決処分事項報告承認6件(球磨村税条例一部を改正する条例の制定、球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定、平成29年度一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算、後期高齢者医療特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算)が上程され、球磨村監査委員には、議会選出として小川俊治氏が選任同意され、各専決処分事項報告承認についても原案のとおり承認されました。

正しい批判と監視を



議長
多武 義治

皆様に一言ご挨拶を申し上げます。

去る4月に執行されました「村議会選挙」に伴い、5月10日に開催されました臨時会におきまして、第21代議長の要職に就くことになりました。その重責に身の引き締まる思いがいたします。

皆様には、日頃より議会活動に對しまして、ご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。議員一同「開かれた議会」を目指し努力して参りたいと思っております。

さて、議会の役割には、政策

の最終決定としての議決権があります。そして、その決定が正しく執行されているかチェックすることや、一般質問などでの政策提案などが重要な役割となります。また、多くの政策を執行するには、執行部と一体となつて取り組む必要がありますが、議会が執行部の追認機関とならないことも大切です。住民の代表機関として、正しい批判と監視ができるよう努力いたします。

これからも、議会活動に関する情報は、「議会だより」等でお知らせいたしますこととしております。議会に對しまして更なるご指導とご協力をお願いし、ご挨拶いたします。

6月定例会 議案等の審議結果

日程	議案番号	件名	結果
第1	報告第1号	平成29年度球磨村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
2	報告第2号	平成29年度球磨村簡易水道特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
3	議案第28号	財産の処分について	原案可決
4	議案第29号	平成30年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
5	発議第3号	最低賃金の大幅引き上げと全国一律制度実現を求める意見書並びに、最低賃金の大幅引き上げと、公正な最低賃金審議会のあり方を求める意見書の提出について	原案可決

5月臨時会の議案等審議結果

日程	議案番号	件名	結果
第1	発議第1号	球磨川改修事業等対策特別委員会の設置に関する決議について	原案可決
2	発議第2号	球磨村議会広報対策特別委員会の設置に関する決議について	原案可決
3	同意第1号	球磨村監査委員の選任同意について	原案同意
4	承認第1号	専決処分事項報告承認について（球磨村税条例の一部を改正する条例の制定について）	原案承認
5	承認第2号	専決処分事項報告承認について（球磨村国民保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	原案承認
6	承認第3号	専決処分事項報告承認について（平成29年度球磨村一般会計補正予算について）	原案承認
7	承認第4号	専決処分事項報告承認について（平成29年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について）	原案承認
8	承認第5号	専決処分事項報告承認について（平成29年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算について）	原案承認
9	承認第6号	専決処分事項報告承認について（平成29年度球磨村介護保険特別会計補正予算について）	原案承認

議会の構成

議席番号

議長 副議長
10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
松野 田代 多武 嶽本 舟戸 高澤 小川 犬童 松谷 東
富雄 利一 義治 孝司 治生 康成 俊治 勝則 浩一 純一

総務文教常任委員会

委員長 高澤 康成
副委員長 小川 俊治
委員 多武 義治
// // 東 松谷 浩一 純一

産業厚生常任委員会

委員長 嶽本 孝司
副委員長 犬童 勝則
委員 松野 富雄
// // 舟戸 田代 利一 治生

議会運営委員会

委員長 田代 利一
副委員長 高澤 康成
委員 松野 富雄
// 嶽本 孝司

球磨川改修事業等対策特別委員会

平成30年5月10日設置

委員長 舟戸 治生
副委員長 嶽本 孝司
委員 松野 富雄
// // 高澤 康成 田代 利一

球磨村議会広報対策特別委員会

平成30年5月10日設置

委員長 小川 俊治
副委員長 犬童 勝則
委員 松谷 浩一
// 東 松谷 純一

人吉球磨広域行政組合議員

議員 松野 富雄
// 田代 利一

人吉下球磨消防組合議員

議員 犬童 勝則

議会選出監査委員

委員 小川 俊治

球磨村水防協議会委員

委員 嶽本 孝司
// // 舟戸 治生
東 松谷 浩一 純一

一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨
田代利一議員	①球磨村の農業施策 ②村内県道、村道の整備 ③地域における安心、安全対策
松谷浩一議員	①地域の実情に応じた多様なサービスの充実 ②高齢者にやさしいむらづくり ③村内観光資源の活用
小川俊治議員	①農業振興 ②福祉有償運送運営 ③村民防災会議の方向性
東 純一議員	①コミュニティバスの利用状況と今後の課題 ②農産物の出荷と受け入れ ③村議会選挙の期日前投票の周知と今後の対応 ④分館活動の今後の流れ
舟戸治生議員	①運転免許証の自主返納しやすい環境整備 ②住民基本台帳及び閲覧 ③通学路・スクールゾーン及び安全対策 ④農地等の利用、最適化の推進

田代議員 今後の農業施策で所得向上や農業の生き残りをかけた対策は。

柳詰村長 強い農業経営の支援、高齢者でも稼げる農業の推進、農地の保全、持続可能な農業への支援を掲げている。

本村の奨励作物に加え、洋物野菜等の継続した栽培で所得に結びつくと考ええる。

一勝地、神瀬地区は圃場整備ができない棚田であるが、奨励7品目と粟・筍や山菜を組み合わせれば、十分に経営できるし、山村活性化交付金を活用していきたい。

田代議員 耕作放棄地が増えているが対策は。

境目農業委員会事務局長 1. 27 haが遊休地から耕作開始され、0.86 haが荒廃農地として増加。農地の利用状況を調査し、農地利用適正化促進を行う。

田代議員 奨励作物の情報提供を広報で周知することと、球磨村で



奨励作物のズッキーニ

できる作物の栽培年表は村でできないか。
犬童産業振興課長 奨励作物の講習会は広報で周知している。年表は他の課とも連携し、作成を考えたい。

田代議員 次に、県が維持管理す

る道路の危険箇所の把握と適切な措置は。

上部建設課長 要望のある離合箇所、除草、路肩の落石など現地確認を行い、県への要望と緊急の場合は土木事務所に連絡している。

田代議員 県道高沢一勝地線役場入口の改良について地権者との契約状況は。

柳詰村長 平成28年度に詳細設計が完了し、用地交渉が行われていると伺っている。個人の大切な思い入れのある土地・家屋だろうし、丁寧にご相談いただいて理解を頂くように県にもお願いしている。

田代議員 人吉水俣線の未開通区間の進捗状況は。

柳詰村長 平成24年に県道人吉水俣開通促進協議会を開き、人吉市・球磨村合同で県に要望書を提出。管内主軸事業要望のなかに平成28年からの新規事業として、主要地

方道人吉水俣線未開通区間の整備促進、球磨村人吉区間を取り上げ、関係省庁及び県に要望を行っている。

田代議員 通学路の安全対策は。

柳詰村長 毎年7月に通学路安全推進会議を開催し、危険箇所等対応状況を確認し、合同点検を実施。対策実施後の効果把握を行い、対策の改善、充実を行いたい。

田代議員 通学路安全推進協議会の役割は。

友尻教育長 登下校道路の安全確保を最優先事項にして話し合いを進めている。

田代議員 ネット犯罪に巻き込まれない対策は。

友尻教育長 保護者に危険性を徹底周知していく。機会あるごとに学校内、学年内で危険性を話し込んでいく。

田代議員 徒歩通学の安全対策として、主要箇所に防犯カメラの設置の考えはないか。

友尻教育長 交通安全推進会議のなかで、防犯カメラ設置を話題にし、専門家の意見を聞くことを計画している。

答

奨励作物の継続した栽培と山村活性化
交付金の活用

生き残りをかけた農業政策は



田代 利一 議員

第7期球磨村高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の内容は

答 国の指針及び県の基本的な考え方を踏まえ
て取り組んでいく

松谷議員 第7期球磨村高齢者福祉計画の中に「地域の実情に応じた施設居住系サービスの充実や高齢者向け住まいの確保」とあるが

具体的には。
柳詰村長 地域の実情に応じた多様な住まいの確保が市町村には求められており、本村においては、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加している現状である。村内にサービス付高齢者住宅等を整備する事業者を見込むことは困難な状況であることから、近隣市町村の高齢者向け住宅や有料老人ホームに関する情報を積極的に提供している。併せて高齢者の住宅改修等を行うことで、バリアフリー化を推進し対応していく。また、本村で整備している小規模多機能居宅介護施設「どんぐり」においては、泊り、通い、訪問を組み合わせたことにより高齢者の在宅生活を支

援していきたい。

松谷議員 近隣市町村の施設において、お願いすることも一つの手段とは思いますが、せせらぎの居住部門が全く使われていない。既存の施設を使用される考えは。

假屋住民福祉課長 せせらぎの居住部門は、設立時より入居期間はおおむね3ヶ月、生活全般において自立されていることが条件と決められている。施設の設定目標から言ってもすぐわかないと考えている。

松谷議員 約20年前の設立時のルールに従って進めているということだが、村民のニーズは変わってきている。その時々で変えていく必要があると思う。今後柔軟な対応をお願いしたい。

次に、自動車を運転することの出来ない高齢者の移動手段として「ドア・ツー・ドア」の移送支援とあるが具体的には。



松谷 浩一 議員

柳詰村長 政策の柱のひとつである高齢者にやさしい村づくりの中で、交通弱者に対する移送手段の確保は急務と考える。特にコミュニティーバスを利用できない外出に介護が必要な方を支援することを目的として、平成29年6月から社会福祉協議会で「福祉有償運送事業」を開始した。民間の介護タクシー等の利用が困難な当村の現状を考えると非常に重要な事業だと考える。

松谷議員 福祉有償運送のこれまでの実績は。
假屋住民福祉課長 現在のところ利用はない。
松谷議員 利用者がいない原因は。

假屋住民福祉課長 利用できる対象者が、要介護3から要介護5の認定を受けた方であるということ、

また、利用料がタクシーのおおむね半額とはいえコミュニケーションバスの100円と比較して高いということではないかと考える。対象者については、6月18日の公共交通会議で福祉有償運送の利用範囲について協議をお願いしたいと考えている。

柳詰村長 福祉有償運送については、当初より要介護1から利用できるように考えており、公共交通会議でもそのようにお願いしたい。



福祉有償運送車輛

福祉有償運送基準の見直しは

答

国の指針に要介護1から要介護5と明示

小川議員 国の農業施策である米の減反調整配分が廃止され、生産調整を支えてきた直接支払交付金も廃止されることになり、その影響も懸念される。村としてこれから進めるべき重点施策を3点示されたい。

柳詰村長 収入の安定化。農業の担い手確保。農業基盤の整備の3点としている。

比較的農地の整備が整った渡地区においては、担い手となり得るような営農組織と農地の基盤整備が課題と位置づける。

小川議員 直接支払交付金は収入の一部。廃止の影響の受け止めは。

柳詰村長 影響についての把握はしていない。作付け状況を見守る。

小川議員 収入の安定化として農業経営収入保険制度がスタートする。対象は確定申告が青色申告となるが、白色から青色に勧めるた

めの方策は。

犬童産業振興課長 共済組合での意向調査が行われている。村としてできるものがあれば協力し、勉強会などに参加しながら進める。

小川議員 新規就農者に対する村独自の補助の考えは。

犬童産業振興課長 国の事業に村として連動して40歳未満を条件に定額の補助がある。

小川議員 地元のラフティング業の方で冬場は森林組合で働くということがあったが、農業分野でもこの考え方に沿った補助を検討できないか。

柳詰村長 村独自の就農給付金はあるが、それ以上のことは考えていない。これまで夏場はラフティング、冬場は山の仕事をされるところには、地方創生の交付金を交付したことはある。定住、人口減少対策で農業においても何かでき

る状況であれば、検討を要する。

小川議員 次に、福祉有償運送について、これまでの経緯と仕事創生協議会の支援策は。

柳詰村長 県より利用者基準の要介護3からのローカルルールを廃止していることから、地域の実情と必要に応じて見直しの回答があり、運営協議会での利用者基準の変更を協議する。

小川議員 新たな指針では要介護1からと理解しているか。また、基準のなかで、村が認めるものがあるがその範囲は。

假屋住民福祉課長 国の指針では要介護1から5までと明示してある。単独で公共交通機関の利用が困難な方と記載している。一人で乗れないと確認できれば、基準に該当しなくても乗れるものとの解

釈で指針は作る。

小川議員 利用者が多くなることが予想される。資格取得者が必要となるが。

柳詰村長 利用増には、これまでの3名から新たに講習を受けるなどの準備を整えなければならない。

小川議員 村民防災会議の内容周知の方法と防災マップの見直しは。

柳詰村長 自主防災組織を立ち上げていただき、担当職員、防災管理官が出向き周知をする。

山口総務課長 会議の内容、防災マップの見直しについては広報で周知する。



小川 俊治 議員



小川班消火訓練

高齢者の免許証返納が増える中、コミュニティバス利用状況と今後の課題は

答 全体的な減少傾向であるが、移動手段の確保から必要であり、検討していくことが重要である

東議員 高齢者の免許証返納が増加しており、公共交通の必要性は高まる。近年のコミュニティバスの利用状況と課題は。

柳詰村長 75歳以上の高齢者人口は減少傾向にあり、全体的な利用者減少につながっていると考える。今後、移動手段の確保という観点で大変重要との認識であり、若い世代一体となり持続可能な公共交通について検討していくことが重要である。

東議員 誰でも歳とともにバス停も遠くなる。人吉神瀬線運行のバス小型化による地区内への乗り入れはできないか。また、現在の予約路線の対象となる地区の追加はできないか。

山口総務課長 人吉神瀬線には、各支線からもつながる幹線との考え方

で、小型化は考えてはいない。予約路線についても現行でいきたい。

東議員 利用しやすい交通手段となれるよう福祉有償事業も含め、今後とも検討課題として頂きたい。

次に、今年5月、まだ決定ではないが、お茶の加工場閉鎖の話聞いた。生産者は困惑し、農地放棄につながる思いがする。村として状況に応じた対応はできないか。

柳詰村長 JAの加工場のことかと思うが、現在、製茶工場をどうするか正式に協議がない状況だが、確認したところ上層部判断待ちとのことである。今後村としても協議があり、対応できるものがあるば検討したい。

東議員 次に、一勝地駅横に併設されたチャレンジショップの現状は。

高永企画振興課長 現在1社の使



東 純一 議員

用申し込みがあり、経営内容は、球磨村の特産品販売、PR活動を行い、飲食スペースカフェの併設となっている。球磨村としても、特産品販売、企業誘致の面からも期待したい。

東議員 次に、4月の村議会議員選挙で、選挙期間中に日時を決められた期日前投票の地区があった。説明会でも聞いていない。また、他にも村内同じ様な状況の地区があると思うが今後の対応は。

山口選挙管理委員会書記長 対応地区の方々には周知を行ったが、他には特別な周知はしていない。また、今後、他の投票所においても立会人の不足、有権者の減少が著しい投票所もあり、有権者の利便性の観点から、最大限の配慮を行



一勝地駅横に併設されたチャレンジショップ

い、村全体の投票箇所数等、検討していくことになるかと考える。

東議員 次に、本年度、分会から分館に変わったが、まだ地域として、村民として変わっていくべき姿がよく見えていないように感じるが。

友尻教育長 一度に全てが変わることは無理があると感じる。周知徹底を図り、徐々に幅広い活動の充実に向け、皆様と一緒に進めていきたい思いで、説明も含め、しっかり情報交換していきたい。

本村の高齢者の運転免許証の自主返納者数は

答 平成29年が11名。本年も8名が自主返納されている

舟戸議員 高齢者ドライバーによる自動車事故や死亡事故が増える

中で、運転免許証を自主的に返納する人が増えている。返納すると、中心地から離れたひとり暮らしの高齢者には、日常生活に大きな影響があると思う。そこで、本村における高齢者の自動車運転による交通事故の件数の推移は。

柳詰村長 平成29年度は事故が7件発生し、うち高齢者の事故が5件となっている。本年は、これまで3件の事故が発生し、高齢者の方が2名亡くなられており、昨年から増加傾向にある。

舟戸議員 本村にて高齢者の運転免許証の自主返納者数は。
山口総務課長 平成29年は11名の返納者がおられ本年も8名の方が自主返納されている。

舟戸議員 次に、平成29年度の住民基本台帳の閲覧状況は。

柳詰村長 閲覧状況は17件で閲覧申請に当たっては、申請における法的根拠を明記するとともに、個人情報の管理を適正に行う旨を記載した上で閲覧を承認しており、厳正な取り扱いを行っている。

舟戸議員 次に、相良橋から国道219号線の信号機までの歩道のカラー化はできないか。また、スタンダード跡が交通安全の妨げになっているが、何か対応はできないか。

柳詰村長 現地を確認し、必要であれば、7月の通学路安全推進会議に諮り、歩道のカラー化の検討も考えている。スタンド跡については、道路管理者の熊本県と協議し、安全対策に取り組んでいく。

舟戸議員 渡小学校の通学路、国

道から正門までに転落するような場所があるが、歩行者、自転車用柵の設置はできないか。

上郡建設課長 通学路安全推進会議で取り上げていただき、社会資本整備交付金の補助事業の中で通学路安全対策に取り組んでいく。

舟戸議員 農地等の利用最適化の推進について農業委員と推進委員が連携して担当区域との活動を通じて農地利用の最適化、遊休農地の発生防止、解決策、また、担い手への農業利用の集積、集約化に向けても努力されているが、現在の状況は。

柳詰村長 農地等の利用の最適化の推進、担い手への農地利用の集積、



歩道のカラー化が望まれる通学路

集約化、遊休農地の発生防止、解消、新規参入の促進が農業委員会の必須業務となっている。

舟戸議員 農地利用最適化推進委員の活動内容は。

境目農業委員会事務局長 農業委員と推進員へアで、耕作中であるか、荒廃農地となっていないか、荒廃農地であっても、再生利用可能か、再生利用が困難な農地になっていないか調査を行っている。

舟戸 治生 議員

棚田オーナー「田植え交流会」

6月10日(日)、日本の棚田百選のひとつ「松谷棚田」で棚田オーナーとの「田植え交流会」が開催され、昔ながらの手植えによる田植え体験をしました。

参加したのはオーナー17組44名と田植え体験希望者12名のほか、地元住民の方や球磨村棚田保存会、JA球磨青壮年部球磨村支部、球磨村青年団、地元少年野球チームの親子など、村内外から集まった約150名での田植え体験交流会となりました。



水田にまっすぐに張られた田植え綱。参加者はその前に立ち、最初は慣れない手つきで恐る恐る植えていましたが、コツを覚えた後は楽しそうに談笑しながら体験されていました。昼食は、田舎の体験交流館さんがうらに新設された「屋外炊飯交流体験施設」で地元地域のお母さん方が作った特製のおもてなし弁当を食べながら交流を深めました。

今後は月ごとに棚田の様子をオーナーに配信し、10月上旬に稲刈り掛け干し体験を予定しています。

農地保全と環境・景観維持のため、取り組みをスタートし、今年4回目となった「松谷棚田」オーナー制。1年目に14組だったオーナーの数は年々増えていき現在37組へ。今年は遠く東京都から鹿児島県まで多くの応募がありました。

農村資源を活用した地域活性化の取り組みの一環として、今後も持続可能な村づくりに寄与していきたいと思ひます。

田舎の体験交流館「さんがうら」施設長 小川 聡

編集後記

4月に行われた村議選により、新しいメンバーによる議会だよりを発行することになりました。私も2期目の広報委員となり村民にわかりやすい議会だよりを届けたいと思っています。

今年は春先の天候が良好で全国的に農産物が豊作のようです。我家も梨農家ですが、就農して約40年、今年みたいな着果過多はじめての事です。天候に左右されない梨作りを心がけていますが、着果不良の年もあり毎年、春先の天候には悩まされます。これからは台風の季節でもあります。どうか今年が災害のない球磨村である事を願うところです。

犬童 勝則

議会広報特別委員会

委員長	小川 俊治
副委員長	犬童 勝則
委員	東 純一
委員	松谷 浩一

■球磨村世帯数:1,493世帯 ■人口:3,757人 男:1,785人 女:1,972人(平成30年7月1日現在)